

今日は！めっちゃめっちゃ寒い日々です。今も雪が舞っています。皆様、お元気ですか？今年最初のしあわせ通信とこがっち通信をお届けします。しあわせ通信は、購読のお申し込みが必要です。ご希望の方は、購読詳細について、HP「しあわせ森の家」をご覧ください。わからぬ時はメッセージやお電話でお尋ね下さいね。

さてさて、早、二月です。今年の禅の会のスタートは、一月の西宮ツアーからでした。しん君や高橋さんの、心遣いを感じた、とても暖かな時間、そして念願のひるこさんにご挨拶をさせていただいた二日間でした。

禅の会も若い人が育って来ていますね。そろそろ、交代する時期がなくなつて、うれしくも有り、ちょっと感傷的でもあり、退職ってこんな感じ……なのかなって、会社勤めをしたことが無くて、自営ばかりだったので、よく分からないのですが、そんなこんなで今日この頃です。寒さの為か、心も懐も寒い……苦笑

さて、フライヤー(チラシ)を同封しておりますが、三月に企画しております、「みんなな学校 みんなの社会 九州大会」の事を私事も交えまして書かせて下さいね。

私は、21年ほど前に大敬先生と出会いました。当時、学習塾をしていました。そして、大敬先生と出会う少し前ですが、森信三先生の修身教授録に出会い、初めて、教育と言うものと向き合う事が出来たと、歓喜している自分

子を一日だけ生きるC君も必要なのですね。人類進化のゴールの為には、あらゆる感情やあらゆる経験を必要とし、今月のしあわせ通信にも書かれていたように、輪廻転生の目的は、色んな立場の人の身になって考え思いやれるようになる事。それが、大敬先生のよく言われるように、我がこに思えると言う事なんですよ。ね。そこに向かって私たちはそれぞれのイノチで自分を生きているんだと思います。

イノチに上下も無く、全てはひとつ。人は誰も、凸凹があります。それがあつて、分り合おう、助け合おうとするし繋がりがあつても出来ません。そこに人(魂)の成長があり、輪廻転生の目的も達成できるわけです。

神様の壺でも、壺の破片のギザギザのまま大きくなるから壺は繋がつても一回り大きな輝く壺になるんですよ。破片のギザギザを丸く削ると破片がびったりつながらず、壺から水が漏れて、本来の役割が果たせないので。その凸は得意な部分凹は苦手な部分で、その凸は得意な部分凹は苦手な部分で、そんなの有りなのが当たりまえ。苦手な事はあつてはいけないと、誰が決めたのでしょつかう出来ないより出来た方がいいって、本当でしょつかうか？

そして、ここから、私の中では、大空小学校につながっています。もし、この子が教室に居ると、他の子の勉強がはかどらないとか、その子にとつてもそれが良いだろう、と、その子をとつても他の学校や、場所に移す事を選択したとします。

を感じ、塾の体制を大きく変えたばかりでした。手さぐりながら、初めて、塾の面白さを感じ、子ども達の笑顔も増えて来ていました。

そんな時に大敬先生をご紹介いただき、ひまなことから、坐禅会のお世話役を仰せつかりました。正直、塾が面白くて、会のお世話役なんて面倒だなんて思ってたのですが、流れに押し流された感で、そのお役を頂きました。そして、1997年10月から元氣アップ

禅の会はスタートしました。只今21年目。大敬先生は、禅の会で、心はゴムひも理論、足運び法、金平糖大作戦、神様の壺などなど、心がワクワクするお話を毎回して下さいました。心はゴムひもや足運び方は、兎に角実践しました。塾の子ども達との実践は、確信にも変わって行きました。と同時に、私の鉄則腑に落ちない事にはかかわらないと決めていたのですが、すんすんと腑に落ちて行つたのがとてもうれしかったです。そして、

「心は全知全能である」  
「心に不可能はない」  
「自分がやると思う心がやってくれる」  
「心は前にしか進まない後ろを振り向くなど、実践を通して、個々の中にある、大きな心のエネルギーを信じられるようになって行きました。心が先、形は後でした。

足運び法も、心エネルギーの発動に必要な行為であつて、実はそれは、全ての人が持っているものだと言つてもつなかりました。また、金平糖大作戦、神様の壺で、人類の進

それで、学校も子ども達も地域の人も考える必要が無くなる訳ですからそれは、とても大きな学びの場を、各々の成長のチャンスとゴミ箱に捨てたようなものです。こんな勿体無い事はないでしょう。

反対に、もし、この子が、安心して、一緒に教室に居れるようにするにはどうすればいいだろうかと、子どもたちと、先生たち、地域の人たちと、話し合う事を選択したとします。どうでしょう。

みんな考えてみます。相手の立場になって……みんなが一緒に考える事によって気持ちも繋がってきます。そして、そこには学びと考える力が生まれてくるでしょう。人を思いやる心も育ちます。決して、難しいことでは無くて、「全ての子ども達の学習権を保障する学校を作る」と言う、大空小学校の理念に基づいた選択です。どうすれば守れるでしょうか？

不登校とか、障がいとか、貧困とか、今、目の前で見えている現象ではなく、すべての子ども達の学習権です。子どもをどこかに移しての学習権の保障は、子どもたちが生きて行く地域の学びがありません。その学校の子どもや教職員の学びも、みすみす、逃しているのです。そして、大空小学校では、この理念のもとに、

実は、人類進化の道行がなされている訳なんです。私が何故、ここまで突き動かされるのかの答えのひとつがここにありました。大敬先生の理論と、木村先生の実践が、繋がるのかも知れないですが、それもD君であり、

化の過程を知ることになりました。

そして、「ゴール」とは、個々の悟りや、修業の先にあるものではなく、  
全ての人(植物や動物も含めて)

「ひとりのイノチ」  
が  
「ひとりのイノチ」  
になる事なのだとなりました。

これは、とても大切な事で、ひとつイノチに戻るのはなく、ひとつイノチから、ひとりのイノチとなり、進化発展を繰り返して、大きくなつて、ひとつのイノチになると言う、壮大な、人類進化のドラマの真、ただ中に居るのだと言う事ですね。大敬先生が見てるゴールです。

あくまでも、例えば、退行催眠などで戻つちゃう駄目なんです。仮に、もどつて、ひとつイノチの世界を見たとしても、それは、生まれ故郷を見えるようなもので、最終的なゴールではないのだと思います。いかがでしょうか。そんな風な事が解ると、全員で人類の進化をやつてるんだと気が付いてきますね。

A君もB君も同じひとつイノチから生まれてひとりのイノチを生きている自分の分身ですね。A君やB君から見れば、あなたが分身だという事なのですね。

そこに、どっちが上か下かなんてやつてる訳です。あの人とこの人を比べてジャッジして見る訳ですね。自分の中の、左手と右手を比べているみたいで滑稽ですね。たとえば、明日、死ぬために生まれてくる、そんなひとりのイノ

Kさんであり、私であり、あなたであるのです。共同作業です。

最後に、大空小学校には校則はなく、たった一つの約束事があります。「自分がされて嫌な事は、人にしない、言わない」これだけです。この約束事を破ったときは、たとえ授業中であつても、やり直しの部屋に行つて、やりなおしを誓います。勉強より大切にしていますね。だからこそ、大空の子ども達は人の立場になつて考える人に育っています。インクルーシブ

教育を目指してたのではなく、全ての子どもが安心して通える不登校ゼロのパブリックの小学校があつて、その形がこれからの目指すべきインクルーシブだと東大が協定を申し出た。神様の壺も、金平糖大作戦も、木村先生はご存じないです。でも、それでも、実践の姿は、神様の壺でした。ギザギザを削ったり切り取つたりするのはなく、そのままの形で大きくなつて行く……それは、人の事も我がこととして考える人に育つていくと言つ事、そして、大きな壺となつて神様のみむねに帰って行くのでした。ね。神様の壺はしあわせ通信第2集を読んでね。と、長々ですがありがとうございます。三月三十一日は、木村先生と大敬先生のイノチの講演です。翌四月一日は、元氣アップ

禅の会開催します。どうぞ、スペシャルな二日間です。全国から集いませんか？  
今月の禅の会は、2月18日、小倉の菅原神社で9時45分から、お待ちしています。最後までお付き合いありがとうございます。